

まえがき

あなたにとって、「英語」ってなんですか？ 学校で勉強しないといけない「教科」？ 進学のため？ 就職のため？ 昇進のため？ それとも、趣味？ もしかしたら、日本では、ある時期にだけ必要と感じている人が多いかもしれません。でも、「ある時期だけ」でも、「突然」でも、「ずっと」でも、英語が必要なら少しでも楽しく、少なくとも苦痛を感じずに取り組めたらいいですよね？

「ミッション：インポッシブル」という映画をご存じですか？ 1996年に公開され、その後もシリーズ化されたアメリカの映画で、秘密諜報組織のスパイに扮するトム・クルーズが、不可能（^{インポッシブル}impossible）と思われる任務（^{ミッション}mission）を成功させていきます。トム・クルーズのように、天井からワイヤーで吊り下げられたまま機密データを盗むことは不可能かもしれませんが、自分が決めた可能（^{ポッシブル}possible）な小さな目標（^{ミッション}mission）を達成させていくことができたら、きっと満足感を得ながら、それぞれに必要な英語を使えるようになるのではないのでしょうか。

（※ミッション：任務、作戦、使命、目標 ※ポッシブル：可能な ※インポッシブル：不可能な）

この本では、自分自身の小学校、中学校、高校、塾、英会話スクール、予備校、大学、それから、留学、国際結婚、子育て、仕事で取り組んできた、達成可能だったミッションを振り返って書いています。中には、失敗したミッションもあります（笑）。でも、たとえ失敗したとしても、次への目標につな

げていけたら、それは成長の過程ですよ。私が変わったミッションが、少しでもこの本を読んでくださった方の英語学習のお役に立てますように。自分自身もまだまだたくさんのミッションに取り組んでいきたいと思います。

Where there is a will, there is a way. —Abraham Lincoln

「意志あるところに、道は開ける」 — エイブラハム・リンカーン